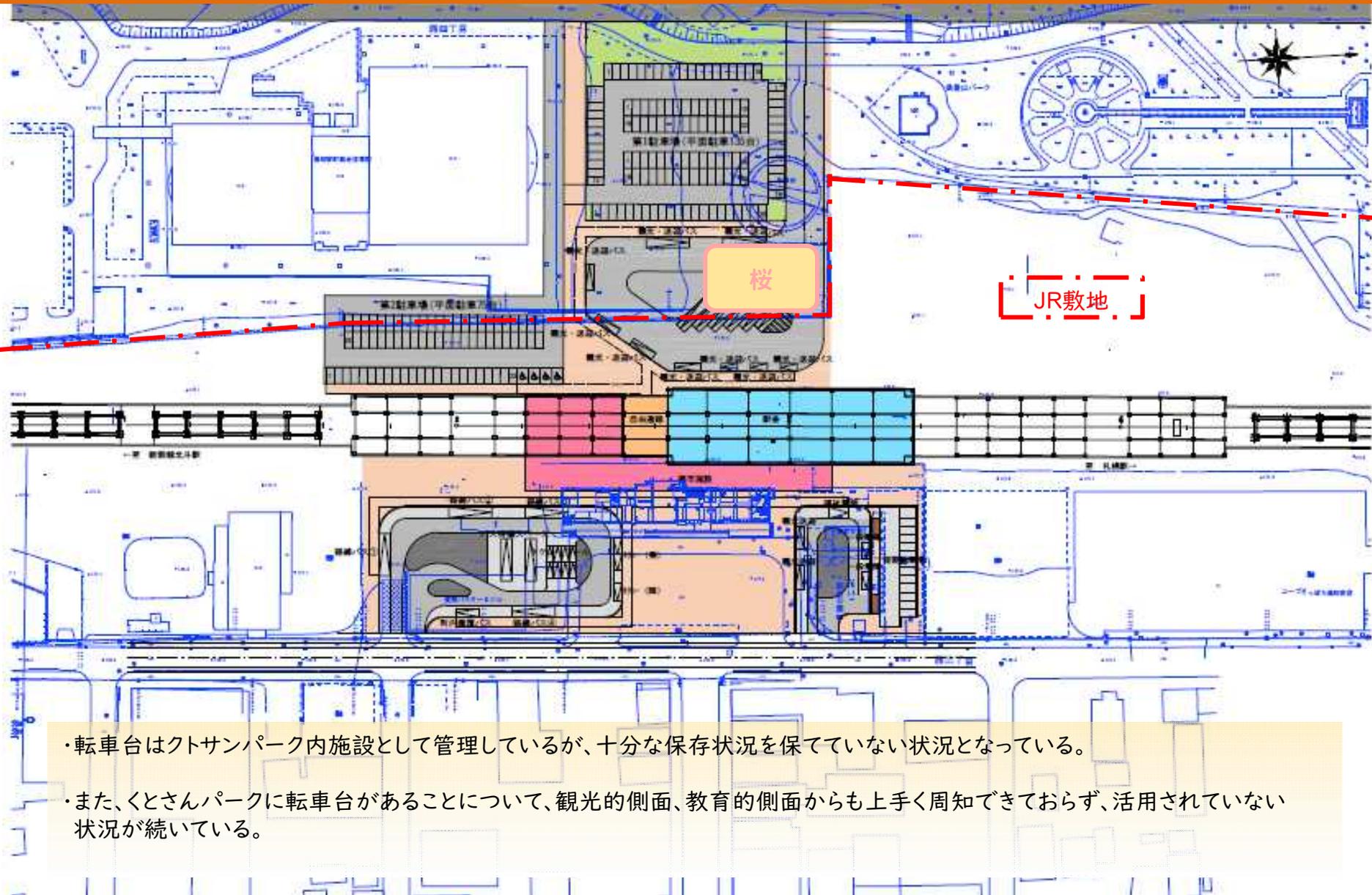


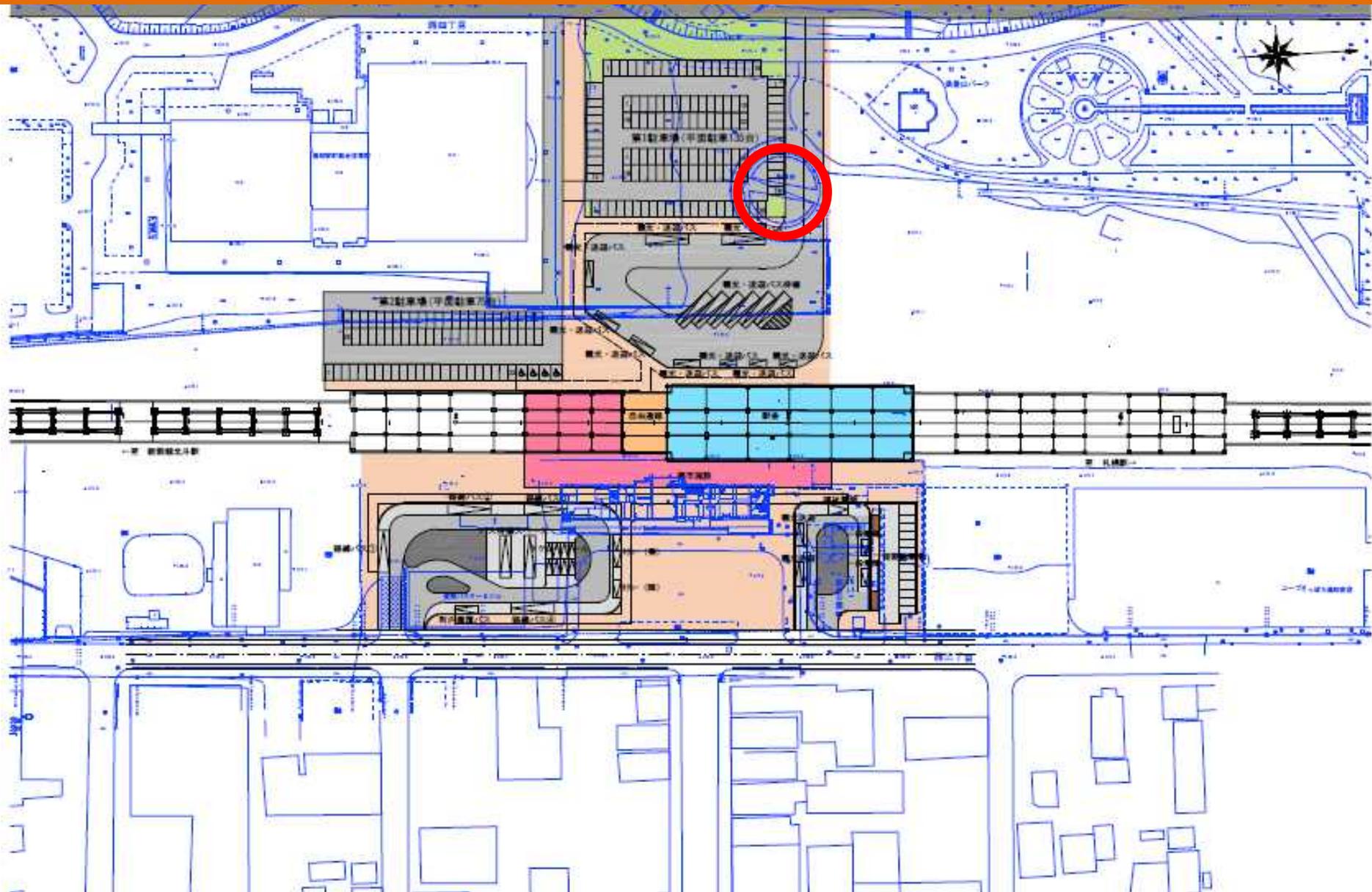
-
- ・ 転車台の保存、移転、撤去における課題について
-

1 転車台の現状



- ・転車台はクトサンパーク内施設として管理しているが、十分な保存状況を保てていない状況となっている。
- ・また、くとさんパークに転車台があることについて、観光的側面、教育的側面からも上手く周知できておらず、活用されていない状況が続いている。

2 課題の整理①



2 課題の整理①

(1) 保存した場合の課題について

○ 保存するならば、転車台を活用した駐車場周辺施設の検討が必要となる

①保存した後の活用は？

- ・観光的側面から、転車台を目的とした来町者がくとさんパークを利用
- ・教育的側面から、子どもたちが倶知安町の歴史（鉄道、農業、観光等々）を学ぶ施設として利用
- ・公民館のSLや六郷鉄道記念公園の車両と連携した活用（一体化、動線作り）

②修繕・保存費用は？

- ・各自治体にある施設の状況や修繕・保存内容で大きく異なる。（SL移転費は現在確認中）
- ・（参考）天竜浜名湖鉄道は、天竜二俣駅（浜松市天竜区）の転車台や洗車機を修繕、保存する費用を賄うため、クラウドファンディングを活用した出資を募っている。目標額は1000万円。
- ・（参考）群馬県みなかみ町のクラウドファンディングでは、「SL塗替費用」として約200万円。

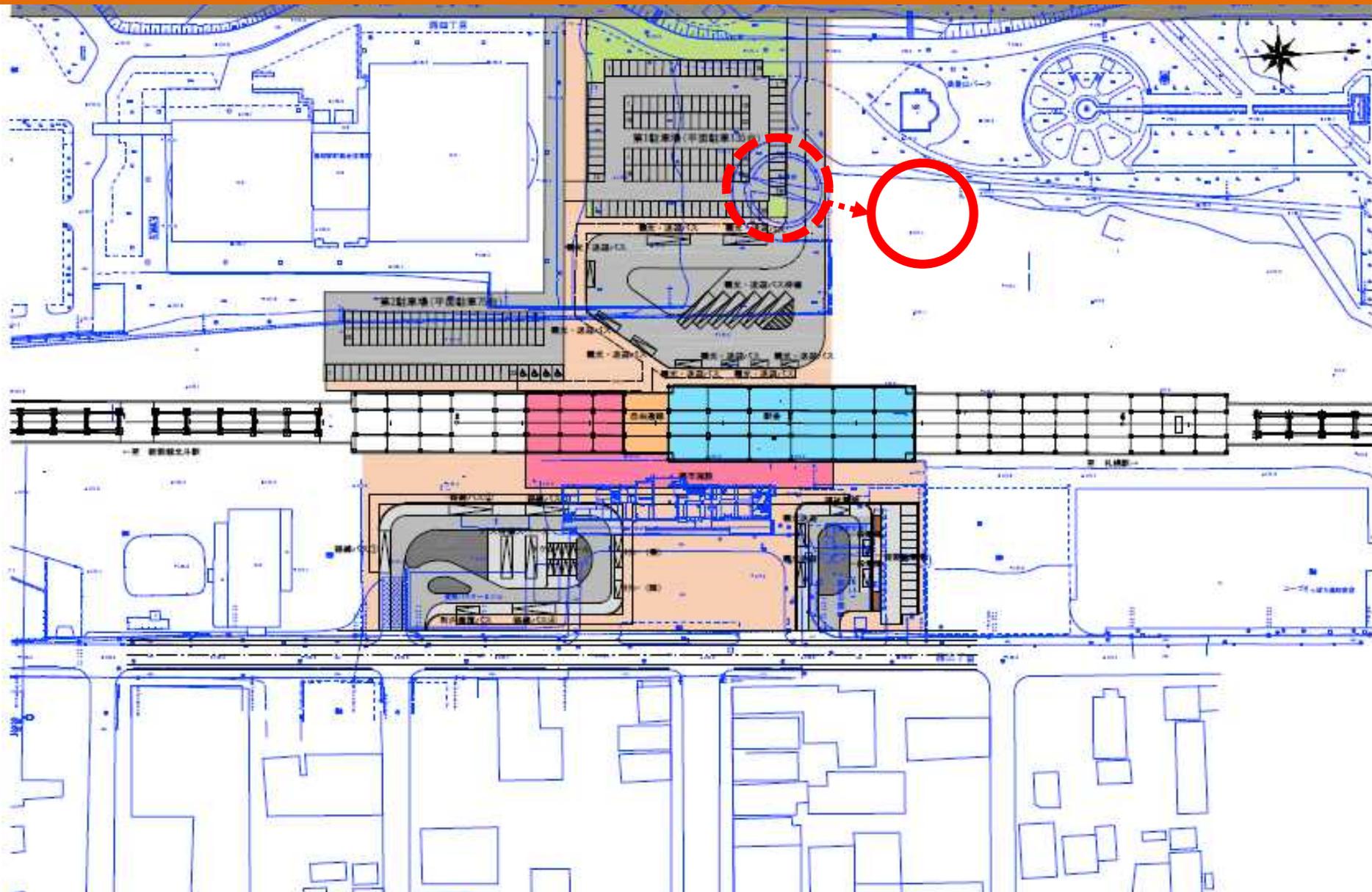
③保存方法は？

- ・転車台は野ざらし、SL等は風雨や冬季間の保管に耐えられる上屋が必要となる。
- ・転車台やSLなどを動態保存が必要となるのか？

(2) 事例紹介

保存場所	保存内容
愛媛県宇和島市錦町 宇和島駅（うわじまえき）	終点駅であったため施設も多い。 扇形庫（せんけいこ）と転車台が現存する
宮城県仙台市青葉区作並字相ノ沢 作並駅（さくなみえき）	2014年に、市民団体とJRの協力により、埋められていたものを掘り返した。 イベントの際に見学会等がある
山形県新庄市多門町（たもんまち） 新庄駅（しんじょうえき）	明治36年に開業した新庄駅と同時に竣工され、大正期に少し離れた 現在地に移設された。使用可能な状態で整備されている。

3 課題の整理②



3 課題の整理②

(1) 移転した場合の課題について

○ 移転するならば、転車台を活用した駐車場周辺活用の利便性を高めつつ、公園内移設であればくとさんパークの活用方法について検討が必要となる

① 移転場所は？

- ・くとさんパーク（現在の場所から北側に移設（現JR敷地の活用も考えられる））
- ・六郷鉄道記念公園（公園敷地との問題）
- ・公民館（SLとの一体保存）

② 移転費用は？

- ・各自治体にある施設の様相や内容で大きく異なる。（SL移転費は確認中）
- ・（参考）福井県（敦賀市）では、北陸新幹線の新駅の場所と重なり解体撤去される転車台を、県がJR西日本から無償で譲り受けた。移設保存費用などとして2016年9月補正予算で3500万円を計上。（転車台の所有は福井県。まだ活用はされていない）

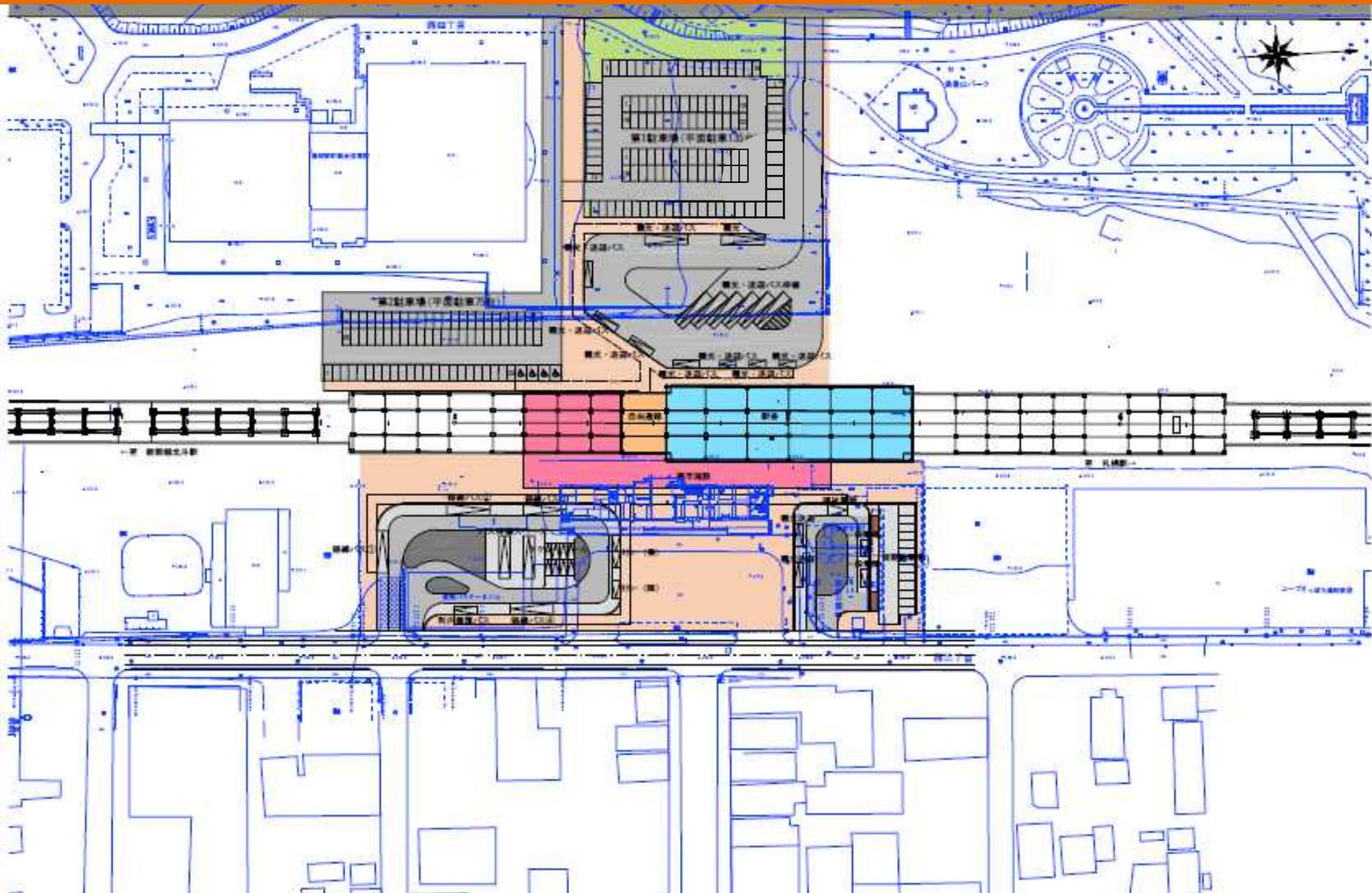
③ 移転可能な施設なのか？

- ・撤去された機関庫と転車台を結ぶ旧線路上であれば、地盤は安定しているのではないか。
- ・転車台そのものの強度について調査が必要となる。

(2) 事例紹介

保存場所	移転内容
北海道虻田郡ニセコ町 ニセコ鉄道遺産群	1990年に旧新得機関区転車台を移設。 2021年にニセコ鉄道遺産群として活用されている。
静岡県榛原郡川根本町 千頭駅（せんずえき）	国鉄赤谷線・東赤谷駅から昭和55年移設された。
京都府福知山市 福知山駅（ふくちやまえき）	昭和11年に福知山機関区内に設置され、その後100mほど移設された。 駅前公園の施設として公開されている。

4 課題の整理③



4 課題の整理③

(1) 撤去した場合の課題について

○ 撤去するならば、引き続き西口駅前周辺活用について利便性を高める検討が可能となる

① 転車台の歴史の伝え方は？

- ・風土館を活用した展示
- ・新幹線駅(都市施設)に町の歴史の一つとしてスペースを設ける
(第2回インバウンド観光勉強会の場において、ベン・カー氏より「町の歴史を示す展示がほしい」との発言あり)
- ・文化福祉センター前や六郷鉄道記念公園での展示コーナー設置

② 撤去費用は？

- ・施設の使用部材や周囲の環境などで大きく異なる。
- ・(参考値)鉄骨鉄筋コンクリート住宅の解体費が約8万円/坪、転車台幅を約20mとすれば約800万円。実際は家屋ではなく、構造も特殊なことから、より多額の費用が必要になると思われる。
- ・(参考)東村山市の「蒸気機関車」解体予算…約2000万円(契約金額約1500万円)

③ 撤去方法は？

- ・西口駅前整備に併せて撤去することが可能か。
- ・転車台の保存を希望する他自治体等への売却、譲渡などは可能か。

(2) 事例紹介

撤去場所	撤去内容
東京都八王子市旭町 八王子駅(はちおうじえき)	2013年に撤去
山形県米沢市駅前 米沢駅(よねざわえき)	2000年に撤去
富山県高岡市下関町 高岡駅(たかおかえき)	2011年に撤去

5 転車台のあり方の検討

(1) 転車台のあり方検討

転車台は、駅西口駅前広場の整備予定エリアに設置されている。

4月から、北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会で駅西口駅前広場の本格的な検討（区域決定）を進める前段条件として、あり方を検討したい。

- ・今の場所に保存（修繕が必要、維持管理が必要、SLとの一体保存の可能性など）…機関区跡地利用としては「移設」の手段もある
- ・移転・移設して保存（移転・移設場所が必要、維持管理が必要、SLとの一体保存の可能性など）
- ・撤去して展示コーナーなどを設置し、歴史を残す（展示場所が必要、展示内容（鉄道や農業、ロクさんなどとの繋がりなど）について検討

(2) 第3回部会に向けて

2月25日（金）に開催される「北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会」にて、今回までの部会検討内容を報告する。

